

「関係機関等との連携による 犯罪被害者等支援」

岡山県知事 伊原木 隆太



皆さま方におかれましては、平素から犯罪被害者支援にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、県内の令和3年中の刑法犯認知件数は、7,535件で、戦後最多だった平成14年のほぼ6分の1まで減少しているものの、何の罪もない方が犯罪に巻き込まれる事件は後を絶ちません。また、犯罪被害者やその家族・遺族の多くは、犯罪等による直接的な被害にとどまらず、その後も副次的な被害に苦しめられることも少なくありません。

県では、犯罪被害者等の支援を行う上での指針となる「第4次岡山県犯罪被害者等の支援に関する取組指針」に基づき、犯罪被害者等が再び平穏な生活を一日も早く営むことができるよう、関係団体・関係機関などと連携・協力し、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

また、性犯罪・性暴力対策について、国は「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を定め、令和2年度から4年度までの3年間を「集中強化期間」とし、令和3年10月には、性暴力被害者の夜間休日の相談を受け付ける国のコールセンターを設置しました。

これを受け、本県でも、被害者サポートセンターおかやま（VSCO）をはじめ、県医師会・産婦人科医会等との連携のもと、被害者等を総合的にワンストップで支援する「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」において、緊急事案には夜間休日でも対応できる体制を整備するとともに、医療費等の公費負担を行うなど、被害者の健康の早期回復、日常生活の早期復帰に向けた支援を行っているところです。

また、被害者等が躊躇することなく相談でき、適切な支援に迅速につながることを重要と考えており、「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」について、今後一層の周知を図ってまいります。

安全で安心して暮らせる社会を実現することは、県民すべての願いです。一方で、県民の誰もが犯罪被害者等となる可能性があります。犯罪被害者等への支援は、被害者等の視点に立って、地域社会全体で取り組むことが必要であり、被害者等が必要な支援を途切れることなく受けられるよう、引き続き、関係団体・関係機関などと緊密に連携・協力し、施策を推進してまいります。

VSCOの皆様には、今後とも犯罪被害者等の心に寄り添ったきめ細やかな支援にご尽力いただくとともに、本県の施策推進に一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

●●●●●●●● V S C O この1年のあゆみ (事業報告) 2022年1月～2022年12月

| 事業名 | 実施内容 |
|-------------|---|
| 電話面接・直接支援など | 令和3年度から、県の委託を受け、性暴力被害相談員を新たに雇用するなど「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」の充実を図りました。また、令和3年1月の事務所移転に伴い、「おかやま心」の専用相談室や面談室を新たに設置するなど、未曾有のコロナ禍ではありますが、相談支援体制の強化を図っています。 |
| 支援員の養成と支援体制 | 平成3年はコロナ禍のため、まったく講座を開催することができませんでしたが、平成4年は、基礎講座を5月から7月まで6回、中級講座は7月から9月まで6回開催することができました。 令和4年11月30日現在の支援体制は、犯罪被害相談員7名、犯罪被害者等給付金申請補助員4名、電話・面接相談員17名、犯罪被害者直接支援員12名、自助グループ支援員4名、事務局職員3名、性暴力被害相談員6名となっています。 |
| 研 修 | 全国被害者支援ネットワーク主催の全国研修会、中四国ブロック研修会の上半期研修会に参加したほか（令和3年度下半期は新型コロナウイルス感染予防のため中止）、V S C O独自の継続研修として、事例に基づき、支援のあり方等について、月1回の研修を行っています。 |
| 広報・啓発 | <p>(機関誌の発行) 1月に機関誌「心いつでもそばに」第17号を4,000部発行し、会員等へ業務内容、活動状況等の報告を行うとともに、フォーラム等の参加者に配布し、V S C OのPRを行いました。</p> <p>「いのちと魂のメッセージ」のパネル展 研修会、フォーラム、官公庁のロビー等で開催し、被害者の声を発信しました。</p> <p>岡山市との共催事業「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」開催 次のとおり計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。 令和4年2月6日(日) ピュアリティまきび(岡山市) 基調講演 「ビジュアルボイス」～写真で見る性暴力サバイバーたちの思い～ 講師 武庫川女子大学准教授 大藪 順子氏 ミニコンサート 岡山市消防音楽隊 ピーチフェアリーズ</p> <p>岡山西ライオンズクラブ認証50周年記念講演 岡山西ライオンズクラブとV S C Oで共催 令和4年8月7日(日) ピュアリティまきび(岡山市) 参加者93名 基調講演 「なくそう性暴力!大切な人を守るために」 講師 目白大学准教授 齋藤 梓氏 ミニコンサート ピアノ演奏 山地 真美氏</p> <p>岡山県委託事業「犯罪被害者支援講演会」開催 令和4年9月3日(土) ピュアリティまきび(岡山市) 参加者71名 基調講演 「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」 講師 少年犯罪被害者当事者の会 一井 彩子氏 ミニコンサート クラリネット四重奏 「アンサンブル S O F A」</p> <p>岡山県警委託事業「犯罪被害者支援フォーラム2022in おかやま」開催 令和4年11月27日(日) ピュアリティまきび(岡山市) 参加者92名 基調講演 「朝顔に交通安全の願いを込めて ～ゆっくり広がれ優しさの輪～」 講師 交通事故犯罪被害者遺族 高田 香氏 コンサート 岡山県警察音楽隊</p> <p>(情報発信等) ①ホームページ「今日のV S C Oは?」で、毎日の情報を発信しています。 ②フォーラムの開催案内を県内自治体、関係諸機関、大学等へ送付するとともに、自治体広報誌等で周知しています。 ③V S C O及び性暴力被害者支援センター「おかやま心」のポスター、リーフレット等を県内27市町村に配布しました。 ④「おかやま心」の啓発用トイレステッカーを県内の中・高等学校に、啓発用カードを全生徒に配布しました。また、大学生向けのリーフレットを県内大学等に配布しました。</p> |
| 募 金 活 動 | 県赤い羽根共同募金会のテーマ募金「地域ささえあいプロジェクト」を実施しました。この募金活動で、目標額の50万円を集めることができました。 |
| 自販機の設置 | 犯罪被害者支援自動販売機の設置を呼びかけ、12月31日現在72か所に設置しています(p.13参照)。 |
| 助成事業の実施 | 日本財団の預保納付金助成事業として、被害者支援員養成講座の開設や相談員に対する研修を実施しました。 |

2022年度総会の開催

2022年度定時社員総会は、6月18日、岡山市北区平和町の「後楽ホテル」で開催されました。2021年度事業報告を行い、同年度決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が承認されました。また、7名の理事、1名の監事が選任されました。



総会開会

○ **選任された理事** 嶋村 稔、片山 文、難波 光、若林久義、中島豊爾
松村正基、加藤裕司

○ **選任された監事** 森本治雄

○ **感謝状の贈呈**

| | | |
|--------------|-----|---|
| 正会員歴 10年の団体 | 1団体 | 蜂谷工業(株) |
| 正会員歴 10年の個人 | 10名 | 井田千津子、作花知志、嶋村 稔 飛山美保、平松真紀、三好英浩、森脇久紀、匿名3名 |
| 賛助会員歴 10年の団体 | 2団体 | おかやま信用金庫、ナカシマプロペラ(株) |
| 賛助会員歴 10年の個人 | 7名 | 河端武史、藤原悠紀子、本城宏一、匿名4名 |
| 多額寄付の団体 | 2団体 | 公益社団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 (株)倉敷アイビースクエア |
| 多額寄付の個人 | 2名 | (匿名希望) |

○ **2021年度収支報告書(概要)**

(収入) 正会員及び賛助会員会費、地方公共団体補助金・負担金、地方公共団体委託費、民間助成金、寄付金、雑収益等 = 合計 30,957 千円

(支出) 相談事業費、直接支援事業費、相談員等養成研修事業費、広報啓発事業費、管理費等 = 合計 24,775 千円
当期経常増減額は 6,182 千円の増額で、当期一般正味財産増減額は、経常外増減額(会費徴収不能額) △ 158 千円を加えて 6,024 千円の増額となりました。

○ **2022年度事業計画(重点目標)**

2022年度は、次の諸点を重点目標として、特色ある活動を行う計画です。

- (1) 犯罪被害者支援のための活動を、常時多面的かつ総合的に展開する。
- (2) 関係機関との連携を深める。
- (3) 地域の総合力を生かした活動を展開し、また広報啓発に努める。
- (4) 財政基盤を確立強化する。

○ **令和4年度の役員等**

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 顧問 | 村田吉隆 (元国務大臣・犯罪被害者等施策担当) |
| | 岡崎 彬 (岡山ガス会長) |
| | 皆木英也 (公益社団法人岡山県暴力追放運動推進センター元専務理事) |
| | 松田 久 (岡山商工会議所会頭・両備ホールディングス(株)副会長) |
| 代表理事 | 平松敏男 |
| 業務執行理事 | 嶋村 稔、片山 文 |
| 理事 | 難波 光、若林久義、中島豊爾、加藤裕司 松村正基 |
| 監事 | 森本治雄 |
| 事務局長 | 藤原一徳 |
| 事務局長補佐 | 草加成章、事務局員 保科節子 |

※社員総会後の理事会において、業務執行理事として嶋村稔、片山文が選任されました。

2021年度収支報告書(概要) (単位: 千円)

| | | |
|----------------|---------------|--------|
| 会費(正会員・賛助会員) | 2,264 | |
| 地方公共団体補助金 | 2,068 | |
| 民間助成金 | 2,171 | |
| 地方公共団体委託費 | 13,832 | |
| 寄付金 | 7,975 | |
| 雑収益 | 2,647 | |
| 経常収益合計 | 30,957 | |
| 公益目的事業 | 相談事業 | 11,665 |
| | 直接的支援事業 | 2,582 |
| | 養成・研修事業 | 1,436 |
| | 広報啓発事業 | 3,954 |
| | 公益目的事業共通 | 1,855 |
| 法人会計 | 3,283 | |
| 経常費用合計 | 24,775 | |
| 当期経常増減額 | 6,182 | |

片山文業務執行理事が、全国被害者支援ネットワーク(NNVS)コーディネーターの認定を受けました。全国で14人が活躍中で、現在、中四国ブロックではただ一人となります。「認定NNVSコーディネーター」は、犯罪被害者支援として豊富な経験を持ち、且つ講師としての才能、経験豊かな者から、厳しい資格考課を経て認定されます。

なお、同理事は4年度において**公認心理師**の資格も取得しております。

全国研修会での「認定NNVSコーディネーター」認定式▶



フォーラム・講演会（令和4年1月～12月）

「なくそう性暴力！大切な人を守るために」

●講師 齋藤 梓氏 目白大学准教授

岡山西ライオンズクラブとの共催で
「岡山西ライオンズクラブ認証 50 周年記念講演」

ピュアリティまきび 8/7



講師 齋藤 梓氏

性暴力は、日常生活の中で、身近な人から、脅し・暴行もなく起きている

性暴力被害は想像以上にたくさん発生しています。内閣府の2020年の調査によると、性暴力被害の加害者は交際相手や配偶者、学校や職場の関係者など前から知っていた人が多く、被害にあった時期は男女とも18・19歳や20代、また半数以上の人は被害を誰にも相談せず、警察に相談した人は男性0%・女性6%と、**ほとんどの人は警察に相談していません**。NHKが2022年に実施し3万8千人が回答したネットアンケートでも、**性被害を受けた時の平均年齢は15.1歳**で、半数以上が顔見知りからの被害で、被害時に自分が何をされているかわからなかった、頭が真っ白になった、抵抗することができなかった人が多い、という結果がでています。

地位や関係性を利用し、抵抗できなくする性暴力が最も多い

性暴力被害はどのように起こるのでしょうか？日本の調査では「やめてほしい」と加害者に頼む人が51%いますが、抵抗をしても聞き入れられないと、自分は意思を聞かれる存在ではないのだと絶望的な思いになり、抵抗できなくなります。また、人間は強い恐怖を感じると、まず頭が真っ白になり、闘うか逃げるかを意識的・無意識的に判断し、**どうにもならない状況では、身体が動かなくなります**。

性被害の状況をどうにもできないと思った時、自分を守るためには、加害者に従わざるを得なくなることもあります。例えば、繰り返して性的虐待を受けている子どもは、いつ被害が起こるかわからないので、夜がとても怖くて眠れないと言います。そのため自分から先に被害にあう状況をつくって被害にあった後に安心して眠ろうとするそうです。

性暴力が起こるプロセスごとに被害を分類すると、突然襲われる奇襲型、酒や薬物を使う型、DVや児童虐待のような家庭内暴力型、と分類されますが、**1番多いのが、畏にはめていくエントラップメント型**で、これは日常生活の中で、加害者が上下関係を作り出しその地位や関係性を利用する型をいいます。典型的なのが就職活動中の学生の被害です。加害者は、人事部に顔が利くと言って自分の価値を高め、「そんなエントリーシートでは受からない」などと言います。学生は“この人に逆らったら就職できないかも”、と思わされ、別の場所に誘われて性被害にあってしまいます。

基本的に加害者は、世間から信頼されていて、上司、教師など、被害者に対して指導的立場にあることが多く、まず、セクハラ・モラハラなど予兆的行動があってから、加害が発生するプロセスがみられます。その後、加害者は「あれは恋愛だった」「指導の一環だった」などと加害を正当化し、被害者も被害を性暴力と思うと生きていくことが難しくなるので、加害者の主張を受け入れざるを得なくなる場合があります。

また、対等にみえる友人関係でも性暴力が発生することがあります。被害者を下にみる言動をして上下関係をつくり、断りにくい状況で飲酒などをさせて望まない性交が発生します。

性暴力被害が被害者に与える影響

性暴力の難しいところは、同じ性的な行為が一方で親密な行為になり、一方では暴力になることです。そこで大切なのが、境界線を理解すること。これは、個人の安心・安全を守るためにある、目に見えない想像上の線のことです。性暴力とは、**境界線を勝手に踏み越え、相手を人として扱わず、性的なモノとして扱う**ことです。性暴力と親密な相手との心地よい行為との違いは、そこに対等な同意があったか

(性的同意)、がポイントになります。

この性的同意の概念がわからないと被害を認識できません。被害と認識できないので、何だかよくわからないけれど、性に関する事で、混乱して困っている、という子どもが多い。大人であっても、明らかに性暴力なのに、裁判になるような被害なのに、被害者が犯罪だと気づいていないことがあります。

性暴力のもたらす影響としては、トラウマ反応、PTSD、うつ病、自殺未遂などいろいろあり、**性暴力被害はその後の人生そのものに影響**をもたらします。衝撃的な体験（トラウマ）のあとに示すのがトラウマ反応。この反応には、眠れない・食べられない・発熱するといった身体的反応、フラッシュバック・記憶の侵入という精神的反応、職場や学校に行けなくなるといった生活・行動上の変化、自分が悪かった・人を信用できないといった考え方の変化、の4つがあります。アメリカの調査では、PTSDの発症率は大きな災害の被災者で1割くらいでしたが、性暴力の被害の場合は発症率5割とされています。レイプ被害者は、うつ病発症率が一般の人の3倍、自殺念慮が4.5倍、アルコール依存やギャンブル依存になりやすい、などと**精神的影響が大きい**ことが知られています。**人生そのものへの影響**としては、人としての尊厳や主体性が失われ、自尊心が低下し、自傷や自殺、あるいは自尊心を取り戻すために望まない性行為を繰り返す、といった様々なことが起こりえます。

被害を受けた人が回復しやすい社会にするためにできること

被害を受けた人が回復しやすい社会にするため、社会・政策レベル、コミュニティレベル、個人レベルのそれぞれで、できることがあります。社会レベルでは、**法律の整備などで社会全体が性暴力を許さないことを示す**ことが重要です。教育職員の性暴力を防止する法律が今年4月から施行されました。またコミュニティレベルでは、**相談のしやすい環境や、被害に気づきやすい環境をつくる**ことが、個人レベルでは、**性的同意や境界線について多くの人が知り人々がまわりの人の様子に敏感である**ことが大切です。

人には回復力があるので適切な支援があれば、回復する可能性があります。職場など周囲の人が性暴力を理解している、あるいは被害者支援センターで相談員が丁寧に話を聴くなど、治療やケアが適切に提供されることで、状態が安定していく可能性があります。大切なのは、本人だけでなく周囲の人も異変に気づきやすくなることです。相談を受けたときに大事なのは、**相手のことを信じて話を聴き、「あなたは悪くない」と伝え、専門機関を紹介すること**です。その場合、できればまわりの人が先に連絡し付き添いをすると、さらに相談しやすくなると思います。

最近、トラウマインフォームドケアということがよく言われるようになりました。トラウマインフォームドケアとは、トラウマがどういうものか理解し、いつもと様子が違ったら、声をかけて話を聴くなどして対応する。このように、トラウマの知識をもって人々が対応することで、性被害を受けた人が傷つかないような社会になっていくことが重要です。

架空の事例を示します。

Aさんは、営業先の人と食事に行って性被害にあいました。上司に相談すると「早く忘れたほうが**いい**」と言われ、ひとりで警察に行く勇気もなく、人に会うことが怖くなり、仕事を辞めることになりました。

Bさんは、同じ被害にあいましたが、相談した上司が「それは**大変なことだね**」と言ってくれ、一緒に警察に行き、支援センターを探して面接に同行し、会社の休職も認めてくれました。加害者は逮捕・起訴され裁判になりました。

このように、最初に相談した人の反応がとても大切で、相談した人に否定されてしまうと別の人に相談できなくなります。**なるべく早い段階で支援につながると**、その後の人生が違ってきます。

性暴力の多くは力関係の中で生じ、その影響は深刻で長期にわたることが多いのですが、まわりの人の理解や支えで回復することができるので、関心を持っていただけるとありがたいと思っています。



「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」

●講師 一井 彩子 氏（犯罪被害者遺族）

岡山県との共催で犯罪被害者支援講演会

ピュアリティまきび 9/3

少年たちに殺された息子

1995年8月に、中学3年生だった一井さんの長男勝^{まさる}さんは、隣の校区の中学生（14歳）1人、卒業生（15、16、17歳）3人に角材で頭を集中的に狙われるなどの凄まじい暴行を受け、公園に放置されたところを発見されました。病院に運ばれた時には意識がありましたが、一井さんがかけつけた時には重体で、顔や手がパンパンに腫れ、頭はでこぼこ、全身が傷だらけの状態、意識が戻らないまま亡くなりました。3日後に4人の少年が逮捕されましたが、ここから一井さんと少年たちの闘いが始まりました。

加害者4人はすべて未成年で、3人は少年院に1年ほど入り、17歳の主犯は逆送され傷害致死罪で少年刑務所に5年ほど入りました。刑務所の出所当日、「線香を上げさせてほしい」と言ってきたので、後日主犯と両親を来させることにしました。少年事件で、被害者遺族には事件のことは何も知らされず、**主犯に会えば事件のことがわかるかもしれない**と思ったのと、主犯の家族は隣の校区に住んでいた、**自分が娘を守らないといけない**と思ったからです。

しかし、主犯は想像していた人物とは違い、とてもおとなしく、質問には全て母親が答えました。一井さんは、会ってみてがっかりしました。両親は公務員、母親は教師（生活指導担当）という家庭環境で、主犯は勝さんの事件の前にも何度も事件を起こし、そのたびに親がお金を払って示談にしていたそうです。主犯は、少年刑務所にいる間に心が壊れ、数年後には精神科の病院に入院しました。息子を殺したことさえ理解できないということです。「両親や少年刑務所の教官等が主犯の病気に気付かなかったのか？」という憤りの気持ちでいっぱいになりました。



講師 一井 彩子 氏

事件後の出会い

一井さんは、事件後に「**あすの会**」（全国犯罪被害者の会）や**少年犯罪被害者当事者の会**に加わり、多くの被害者の人たちと知り合いました。今でも年1回、「**WILL**」という子どもたちへの追悼の意味を込めた集会を開いています。開始当初から近畿圏の大学生が会を手伝ってくれ、最近ではコロナで開催できないと思っていましたが、学生さんがオンラインで配信してくれ、若い人たちに支えられて活動が継続できています。少年事件に興味のある人は、ぜひWILLを見にきてほしいそうです。一井さんは、普段、中学・高校などで「命の授業」を行っており、少年院などの矯正施設でも講演を行い、大阪では2か所でグループワークも実施しています。少年院の子たちは過酷な生い立ちの子が多いのですが、「**どんな生育環境であっても、絶対に人を傷つけてはいけない**」と伝えています。



27年たって

27年たって、一井さんのつらい気持ちは変わっていません。しかし犯人を恨むだけでなく、むしろ「**おとなが子どもを守らないといけない**」との想いのもと、少年院などでの矯正活動も精力的に取り組まれています。一井さんの子どもたちに向けた愛情が強く響いてくる講演でした。（支援員 S）

「朝顔に交通安全の願いを込めて ～ゆっくり広がれ優しさの輪～」

●講師 高田 香氏（交通事故被害者遺族）

岡山県警察本部・岡山県との共催で
犯罪被害者支援フォーラム 2022in おかやま

ピュアリティまきび 11/27

下校中に交通事故で亡くなったけんちゃん

2016年2月、小学校1年生だった高田さんの長男謙真君（7）（けんちゃん）は、下校途中、自宅から200mの交差点を**青信号で横断歩道を渡っている**ときに、右折してきた2トントラックに衝突して亡くなりました。そこは、見通しの良い横断歩道で長さは5.4m、高田さんの歩幅で8歩の長さでした。そこを3歩分渡ったところで、けんちゃんはトラックにぶつかってしまいました。事故から7時間後、病院でけんちゃんは息をひきとりました。

7つ年上の長女は、「こんなに悲しいことがあるんだ」と、小さな声で言いました。高田さんは、悲しみで家事が手につかないこともあり、自責の念にも苦しみました。



講師 高田 香氏

高田さんが元気を回復した理由

高田さんは、事故翌日から**警視庁綾瀬警察署の犯罪被害者支援室**から支援を受けました。警察の霊安室でけんちゃんは、子ども用のお布団に寝かされていました。これは、警察官が、近くのホームセンターでわざわざ買ってきてくれたものでした。

刑事裁判では、**被害者参加制度**を利用し、意見陳述を行いました。何度も練習してのぞみ、自分の気持ちを裁判で訴えることができました。加害者は、過失運転致死で執行猶予付きの判決でした。

高田さんは、**被害者支援都民センター**に電話し、そこでカウンセリングも受けました。そこでは、けんちゃんのことを安心して思いっきり話せました。「悲しい」と、言葉にすることは、自分の気持ちを整理することになりました。話して涙を流すことを繰り返しているうちにゆっくり回復し、**気持ちに折り合いをつける**ことができるようになりました。

中学2年生だった長女は、事故から1週間で学校へ登校しました。朝、家まで迎えに来てくれたり、学校の休み時間になると**何気なく側にいて、一人ぼっちにならないようにしてくれた**友達もいました。その姿にも励まされました。

朝顔に交通安全の願いを込めて

けんちゃんは、いたずらで朝顔の種をお正月の鏡餅の三宝に隠していました。高田さんは、それを「けんちゃんの朝顔」として、通学していた小学校で育ててもらいました。そして、悲しい交通事故を無くすために、講演活動も始めました。「**焦らず、気持ちにゆとりをもって行動してください**」と、「けんちゃんの朝顔」の種を、全国で配っています。

岡山のフォーラムでも「けんちゃんの朝顔」の種が配られました。優しさの輪が広がって、交通事故や犯罪のない世の中になることを願って、いただいた朝顔の種を植えようと思いました。

（支援員 I）



大学生がフォーラムの司会

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」の大学生が司会を行いました。



環太平洋大学
掘田 沙也佳さん

岡山商科大学
谷脇 真悠さん

岡山県

岡山県
産婦人科医会

性暴力・性犯罪被害者のためのワンストップ支援センター

性暴力被害者支援センター「おかやま こころ 心」

岡山県警察

あなたや大切な人が性暴力・性犯罪被害にあった時…

VSCO

ひとりで悩まないで
～ためらわず、すぐお電話を～



VSCOと連携して次の支援を行います

- 必要に応じて、支援員が病院や警察・検察・裁判所などへ付き添います。
- 産婦人科・精神科の紹介や検査費等を助成します。
- 犯罪被害に精通している弁護士を紹介します。

◆ もし被害にあった時は…

72時間以内に産婦人科に行きましょう。妊娠や性感染症の可能性からあなたの身体と心を守るため、72時間以内の適切な対処が必要です。

被害者サポートセンターおかやま（VSCO）の性暴力被害者のための医療費等支援金の制度でお手伝いできることもあります。

岡山県警察の公費負担制度など無料で受診できる方法もあります。

◆ あなたは悪くありません。ためらわずにお電話を！

どんな相談でもかまいません。お名前は伏せてもかまいません。ひとりで悩まないで、ためらわずお電話ください。相談料は無料です。

ひとりで悩み泣き寝入りすることのないよう、私たちは、受けた被害から立ち直りふたたび平穏な生活が取り戻せるよう支援します。

◆ 性暴力・性犯罪被害を受けると…

悲しみ、不安、恐怖などで、混乱した状態になります。何も考えられなくなったり、何も感じなくなったり、ひとりぼっちと感ずることや、不眠や過呼吸になることもあります。

被害を受けた後は、多くの人がこうした反応を経験します。誰にでも起こりうる、当然の反応です。

◆ 家族や友人の方へ

身近で大切な人が性犯罪・性暴力被害を受けたことを知ったとき、あなた自身も動揺しショックを受けるかも知れません。そんな時は、身近な大切な人の気持ちを受けとめてあげてください。そして、「おかやま心」にご連絡ください。

こころ
おかやま心 専用電話

086-206-7511

月～土 9:00～17:00（祝日・年末年始は休み）
上記以外の夜間・休日は国のコールセンターに転送されます

全国共通番号

はやくワンストップ
#8891

「おかやま心」の相談時間内は、
「おかやま心」に繋がります

性暴力のない岡山県を目指して ～ともに学び続けたい～

岡山医療福祉専門学校 看護科の学生へ講義

当センターのリーフレットを新入学生オリエンテーションで配布して下さっていたご縁から、片山文業務執行理事が、11月15日「**セクシャリティーとジェンダーに関する健康障害 ～性暴力について～**」と題し、成人看護学概論の一コマとして講義を行いました。

被害当事者が、どんな気持ちを抱えて被害を打ち明けているのかについて講義をし、「自分ごととして考える」ことを目的に、「**性暴力被害は、なぜ語りにくいのか**」について、グループで意見交換を行いました。



講義の様子

◆ 寄せられた感想の一部 ◆

私は、**男の子の母親**です。**子どもに性的同意などの話をきちんとしていく**ことで、性暴力の減少につながると思いました。自分と相手の体と心を大切にするんだよ、と話していきたい。

性暴力について中高の時に学ぶ機会が何度かあり、少しは理解していたが、今回の講義でより詳しく新しい知識を得ることができました。体に触れる性暴力のことは知っていたが、**体に触れない性暴力の中で、Air Drop のことも含まれている**ことを知らなかった。

自分が性暴力被害にあったら、**誰にも相談できないかもしれない**です。誰かに話したら、その人に何て思われるかわからないし、噂が広がるかもしれないなど、たくさんのことを考えてしまうと思います。でも、今日講義を受けて、**こんなに理解してくれている人**がいるんだと感動しました。片山先生は、隅々まで性のことについて考えていて理解しているんだと驚きました。こういう人がもっと増えれば、言いやすい世の中になると思いました。

講義の中に出てきたような男にならないようにしようと思いました。

グループワークでは、**自分が被害者だと置き換えて考える**ことができた。他の人の意見を聞いた時、「たしかに！」と、思うことが多かった。

今まで自分が**性的同意**だと思っていたことは、**本当の同意ではなかった**ことを知りました。

身近に性暴力被害に遭った人はいないと思っていましたが、講義を聴いて、小学校の頃に仲の良かった友人の話が「あれは性暴力だったんだ」と、気付きました。話を打ち明けられたとき、今日学んだ知識があれば、**周りに SOS が出せて、違う結果になっていたかもしれない**と、悔しい気持ちになりました。性暴力をもっと、自分ごととして捉えないといけないと感じた。

グループワークで、学生一人ひとりが自分ごととして真剣に取り組む姿を見守りながら、性暴力のない岡山県を目指して、これからも若い世代と「ともに学び続けたい」と、強く感じた一日となりました。

講義を希望される場合はV S C Oへご連絡ください。

(片山 文業務執行理事)

知っておきたい二次被害のこと

大学生のAさんは、親元を離れ、アパートでひとり暮らしをしていました。アルバイトの帰り道、レイプ被害に遭い、被害を知った家族からこんな言葉をかけられました。



Aさんのお母さん

(泣きながら) だから一人暮らしは危ないって、あれほど言ったのに。

このことは絶対に誰にも言わず、黙っていきましょうね。

そうやっていつも親の言うことを聞かないから、こういうことになるのよ。

「いつかこういうことになるのでは」と、心配していたんだ。

(妻に向かって) お前のしつけがなっていないから、こんな後ろ指をさされるような羽目になるんだ。



Aさんのお父さん

このような言葉に、Aさんは、とても傷つきました。被害者が被害の後に、犯人・加害者からではなく、周囲からのさまざまな言動によって、さらに傷つけられる状態(被害)を、**二次被害**といいます。

二次被害を起こす言葉

① 被害者を責める(と受け取られかねない)言葉

「そんな格好していたら不用心よ」「戸締りはちゃんとしていたの」
「あなたにも原因があったのかもしれないね」「泣いてばかりいないでちゃんと説明して」

② 「なぜ」と非難しているように聞こえる質問

「なぜ遅い時間に1人で歩いて帰宅したの」「なぜ犯人について行ったの」
「なぜ逃げなかったの」「なぜ抵抗しなかったの」

③ 被害を矮小化した言葉

「命があるだけでも、良かった。不幸中の幸い」「犬に噛まれたと思って忘れなさいよ」

④ 被害者の心理状態を理解しない言葉

「大丈夫そうね」「頑張って」「早く元気になりましょう」「強く生きていきましょう」
「辛いことは忘れましょう」「時間が解決します」「あなたの辛さはよく分かる」

⑤ できない約束はしない

「〇〇には絶対に秘密にします」「怒らないから、言ってごらん」

二次被害を防ぐために

- ① 自分の動揺した気持ちをそのまま被害者にぶつけない
- ② 被害者の気持ち・意思を理解し尊重し、被害者は悪くないと伝える
- ③ できていることを「よくやっているね」と、肯定的に受け止め、いたわる言葉を伝える
- ④ 専門の相談機関(支援センター)があることを伝える

VSCOは、被害にあわれた方とそのご家族も支援します

VSCO の犯罪被害者支援事例

性被害にあった学生 A さん

性被害にあった学生の A さんが、被害のことを学校の先生に相談し、先生が VSCO に電話をかけてきました。産婦人科へは母親が連れて行きました。

学校から、「今後、A さんにどのような対応をしたら良いでしょうか。」という相談があり、支援員は、**先生達と話し合い**を持ちました。支援員は、性被害の現状や被害者の心と身体の状態について説明し、A さんが安心して通学できる場所を確保してくれるようお願いしました。先生達は、「性被害について知ることができました。」と、言い、**教室に入れない** A さんのために特別室を用意してくれました。A さんは、そこに通学していましたが、ガラスに人影が映ったり、グラウンドで男の子の声が聞こえると、加害者の声に聞こえ、被害の時の状況が突然頭の中に浮かび、恐怖で泣き叫ぶなどのフラッシュバックを起こしました。そこで、A さんは、VSCO が提携している精神科を受診しました。経済的に困窮している家庭のため、VSCO の犯罪被害者支援金を利用し、精神科での医療費・薬代・交通費を VSCO が負担し、受診には、毎回支援員が付き添いました。

A さんは、徐々に明るさを取り戻し、学校生活やアルバイトもできるようになりました。

VSCO の経済的支援

- ・ **性犯罪被害者のための緊急支援金**（産婦人科の費用）
（被害後 原則 72 時間まで）
- ・ **犯罪被害者支援金**（精神科の費用）
（1 人当たり 1 回 5,000 円で、30,000 円まで。資力要件有り）



被害者参加制度で、被害者は検察官の隣に座り、証人に尋問を行ったり、被告人に意見を述べることができます。

長女を殺害された B さん夫妻

B さん夫妻は、長女 C さんを男に殺され、男は逮捕されました。警察からの情報提供で VSCO と繋がりました。支援員は、すぐに面接をし、**裁判と被害者参加制度についての説明**をしました。B さん夫婦は、被害者参加制度を利用し裁判に参加することにしました。VSCO は、被害者支援に精通した **VSCO の協力弁護士** を夫婦にそれぞれ紹介しました。裁判では、それぞれ別に意見陳述をすることにしました。支援員は、**意見陳述書の作成**を手伝い、法廷で二人は、被害者参加弁護士とともに検察官のそばに座り、意見陳述をしました。加害者が、法廷で長女にも落ち度があると証言をしたので、それに対する質問を弁護士に言ってもらいました。また、傍聴席側の B さんの親族に、支援員が付き添いました。

裁判所に届け出て C さんの **遺影の持ち込み**も行いました。成人式の振り袖の写真は、支援員が胸に抱いて裁判を傍聴しました。裁判後には B さん夫妻は、検察庁に行き、証拠品を返却してもらい、検察官と判決についての話もしました。支援員も付き添いました。その後、協力弁護士が、**犯罪被害給付制度の手続き**も手伝いました。B さん夫妻は、「娘が生きるはずだったあと 60 年、加害者に刑務所にいてほしかった。懲役 12 年では軽すぎて、娘が浮かばれません」と、言われました。現在まで、B さんは、加害者から賠償金はおろか、線香 1 本も持っていません。

意見陳述は、被害に関する心情やその事件に関する意見を法廷で述べるものです。支援員は、被害者やその遺族とともに、意見陳述書を作成するお手伝いをします。

VSCO では支援をする時、支援チームを組み**いつも同じ支援員**が、警察や検察庁、病院等にも付き添います。

2 事例ともプライバシー保護を行った複数の事例を組み合わせた架空事例です。

被害者支援活動の実施状況

2022年1月～12月分

1 相談件数

■電話（継続相談を含む）

590（月平均 49.2）

■面接（継続相談を含む）

59（月平均 4.9）

■面接相談の端緒

| | | | |
|-------|----|--------|----|
| 電話相談後 | 58 | 他機関の要請 | 1 |
| その他 | 0 | 計 | 59 |

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

| | | | | | | | |
|---|----|---|-----|----|---|---|-----|
| 男 | 87 | 女 | 502 | 不明 | 1 | 計 | 590 |
|---|----|---|-----|----|---|---|-----|

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

| 被害内容 | 件数 | 被害内容 | 件数 |
|---------|-----|---------|-----|
| 殺人・傷害致死 | 16 | 交通死亡事故 | 23 |
| 強盗（致死傷） | 0 | 交通事故 | 4 |
| 強制性交等 | 154 | 財産的被害 | 16 |
| 強制わいせつ | 143 | DV | 46 |
| その他の性暴力 | 52 | ストーカー | 8 |
| 暴行・傷害 | 17 | 虐待（いじめ） | 0 |
| その他の身体犯 | 1 | その他 | 110 |
| 危険運転致死傷 | 0 | 計 | 590 |

3 紹介（件数）

| | | | |
|-------------|---|-----------------------------|----|
| 岡山弁護士会 | 0 | 県消費生活センター | 4 |
| L A 岡山 | 0 | 交通事故相談所 | 0 |
| 法テラス岡山地方事務所 | 4 | 「おかやま被害者支援ネットワーク」加盟機関（上記以外） | 0 |
| 精神科医 | 0 | 警察 | 4 |
| 臨床心理士 | 0 | 上記以外の機関 | 6 |
| 県女性相談所 | 0 | 計 | 18 |
| 県中央児童相談所 | 0 | | |

4 直接的支援関係（回数）

| | | | |
|----------------|---------------|-------------------|-----|
| 警察関連支援 | 21 | 行政窓口等付添 | 8 |
| 警察への付き添い | | 県女性相談所への連絡・付添い | |
| 被害届・告訴状の提出サポート | | 県・市児童相談所への連絡・付添い | |
| 被害者連絡制度の利用 | | 関係機関連絡会議への出席と連携 | |
| 警告等の申出のサポート | | 公営住宅等の確保等 | |
| 検察庁関連支援 | 4 | 引っ越し・住民票開示等 | 117 |
| 検察庁への付き添い | | 病院付添い | |
| 被害者等通知制度の利用 | | 病院（産婦人科医含む）紹介・付添い | |
| 不起訴記録の開示 | | エイズ検査への立会 | |
| 検察審査会への申立など | | 精神科医の紹介・付添い | |
| 出所情報の確保など | | 自宅訪問 | 3 |
| 裁判関連支援 | 67 | 生活支援 | 0 |
| 弁護士相談への付添い | | 宿泊施設提供 | 1 |
| 刑事裁判・審判への付き添い | | その他 | 16 |
| 代理傍聴 | | 法テラスへの付添い | |
| 意見陳述のサポート | | 仲裁センターへの付添い | |
| 保護命令申立など | | マスコミ対応 | |
| 証人の遮蔽・ビデオリンクなど | | その他 | |
| | 自助グループ | 0 | |
| | 自助グループ開催 | | |
| 合計 237 | | | |

5 犯給金等申請の補助（申請した件数）

| | |
|------------------------|---|
| 犯給金申請のサポート | 0 |
| 犯罪被害者遺児等に対する奨学金給付のサポート | 0 |
| まごころ奨学金申請のサポート | 0 |

6 支援金（支給した件数）

| | |
|---------------------|----|
| 全国ネット被害者緊急支援金の給付 | 0 |
| VSCO 犯罪被害者支援金の支給 | 46 |
| VSCO 性犯罪被害者緊急支援金の支給 | 7 |

性暴力被害者支援センター「おかやま心」の実施状況 2022年1月～12月分

上記 VSCO「被害者支援活動の実施状況」の内数になります。

1 相談件数（継続相談を含む）

401（月平均 33.4）

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

| | | | | | | | |
|---|----|---|-----|----|---|---|-----|
| 男 | 30 | 女 | 370 | 不明 | 1 | 計 | 401 |
|---|----|---|-----|----|---|---|-----|

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

| | |
|---------|-----|
| 強制性交等 | 138 |
| 監護者性交等 | 3 |
| 強制わいせつ | 102 |
| 監護者わいせつ | 7 |
| その他の性被害 | 30 |
| DV | 39 |
| ストーカー | 1 |
| その他 | 81 |
| 計 | 401 |

3 相談の端緒（件数）

| | | | |
|-----------|----|-------|-----|
| HP | 29 | 友人・知人 | 2 |
| トイレステッカー | 2 | マスコミ | 1 |
| リーフレット | 3 | その他 | 32 |
| 啓発カード | 1 | 計 | 114 |
| 警察教示 | 3 | | |
| 関係機関からの紹介 | 41 | | |



VSCOからのお願い

犯罪被害者支援自動販売機の設置にご協力ください

VSCOでは、関係各位のご協力により、VSCO支援自販機を設置していただいています。

自販機の設置により、設置者から、販売手数料の全部または一部を寄付していただくものです。寄付金は、犯罪被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族の支援に充てられます。社会貢献の一環として、この自販機を設置していただける方や団体を募集しています。設置を検討してくださる場合は、VSCOの事務局へご連絡ください。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社岡山支店 1階 ▶



————— たくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。 —————

【自販機設置場所】

※敬称略、名称は設置場所、順不同

公益財団法人慈圭会 慈圭病院、(株)岡田商運(2台)、西の屋赤坂店、西の屋菊ヶ峠店、ドコモショップ平井店、ドコモショップ総社店、ドコモショップ津山小田中店、ドコモショップ岡山瀬戸店、(有)西山建設商事、(株)西山組、環太平洋大学(2台)、天野産業(株)、(株)セキュリティハウス、みのる産業(株)本社工場(3台)、みのる化成(株)本社、みのる化成(株)クリーンボックス工場(2台)、みのる化成(株)くろがね工場(2台)、みのる化成(株)牟佐工場、ENEOS(株)水島製油所、エムシー・ファーターコム(株)(5台)、合同会社 LEAP JAPAN、岡山理科大学(6台)、(株)大本組 本社ビル、モリマシナリー(株)、ナカシマプロペラ(株)、JFE西日本ジーエス(株)JFE見学センター、吉備国際大学、小金井自動車学校(栃木県)、神戸西インター自動車学校(兵庫県)、太秦自動車教習所(京都府)、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、(株)倉敷アイビスクエア、三菱自動車工業(株)水島製作所、医療法人社団尚志会 福山城西病院(広島県)、サンコー印刷(株)工場、社会医療法人盛全会 岡山西大寺病院、新見公立大学(2台)、(株)サンラヴィアン(2台)、社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院、(株)千田組 本社、アットパーク大供 第2駐車場、玉野総合医療専門学校、友田たばこ店、(有)大成玩具、アップル歯科クリニック、横井コミュニティハウス、グッドライフグループ津高介護センター、津島新野(フジワラ)、美川コミュニティハウス、岡山地方法務局、岡山地方法務局 西古松合同庁舎、美作大学 新白梅寮、(株)カーテン・じゅうたん王国 岡山今店、あいおいニッセイ同和損害保険(株)岡山支店、第二アマンビル(設置台数72台)

【協カベンダー会社】

サントリービバレッジソリューション(株)、ヒカリエンタープライズ(株)、FVジャパン(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)キリンビバックス、ネオス(株)、(株)スギノ、(有)日東ベンディング中国、(株)コーシン、(株)野口商店、(株)フジタ商事、(株)伊藤園

本で広がる支援の輪～ホンデリング～にご協力ください

不要になった書籍を、所定の申込書とともに、段ボール箱や紙袋にお詰めいただき、段ボール箱等の表面にVSCOのホームページからダウンロードした申込書を貼ってください。

ただし、ISBNのない本、百科事典、個人出版本、雑誌は取り扱いできません。

(注) 現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により電話での受付が中止となっており、インターネットでの受付のみとなっています。詳しくはVSCO事務局までお問い合わせください。

11月27日開催の「犯罪被害者支援フォーラム2022 in おかやま」の会場で、あした彩の学生の皆さんが「ホンデリング・プロジェクト」を行い、たくさんの書籍を集めていただきました。ご協力ありがとうございました。



募金箱の設置をお願いします

店舗、病院、企業等にVSCOの募金箱を置かせてください。

12月31日現在、岡山県遊技業協同組合の加盟店・病院・美容院・喫茶店等 59か所に設置していただいています。



一般財団法人「厚生会」から毎年多額の寄付金をいただいております。

ご支援ありがとうございます。

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま (VSCO) 会員名簿

(2022.12.31 現在 50音順 敬称略)

会員の皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

正会員 【個人】

| | |
|-------|-----------------|
| 逢沢 一郎 | 衆議院議員 |
| 阿部 俊子 | 衆議院議員 |
| 荒木 信之 | 弁護士 |
| 家野 昌子 | 非常勤講師 |
| 石井 正弘 | 参議院議員 |
| 板野 次郎 | 弁護士 |
| 井田千津子 | 弁護士 |
| 出原 陽平 | 看護師 |
| 伊東 京子 | |
| 井上 志乃 | |
| 井上 雅雄 | 弁護士 |
| 今村恵美子 | 弁護士 |
| 上田紗英子 | 弁護士 |
| 江見由香里 | |
| 大塚 愛 | 岡山県議会議員 |
| 奥田 哲也 | 弁護士 |
| 鬼木のぞみ | 岡山市議会議員 |
| 小野田紀美 | 参議院議員 |
| 片山 文 | 公認心理師 |
| 片山 恵子 | |
| 加藤 勝信 | 衆議院議員 |
| 加藤 航平 | 弁護士 |
| 加藤 裕司 | 自由業 |
| 金重恵美子 | ヒト・カ・モノ・コト伊島 院長 |
| 木口 京子 | 岡山県議会議員 |
| 桐野 忠夫 | 地方公務員 |
| 草加 成章 | 団体職員 |
| 小山 実 | 岡山商科大学付属高校 教員 |
| 作花 知志 | 弁護士 |
| 澤畑 優太 | 弁護士 |
| 嶋村 稔 | |
| 鈴木 一成 | 会社経営 |

| | |
|-------|------------------|
| 高井 崇志 | |
| 高橋 雄大 | 岡山市議会議員 |
| 高原 俊彦 | 岡山県議会議員 |
| 高山 裕子 | 弁護士 |
| 竹原 幹 | 瀬戸内市議会議員 |
| 田尻 祐二 | 岡山市議会議員 |
| 田村比呂志 | 弁護士 |
| 坪井 一彦 | 社会福祉ボランティア士 |
| 津村 啓介 | |
| 寺田 和子 | 保健師 |
| 飛山 美保 | 弁護士 |
| 富岡 美佳 | |
| 中島 豊爾 | 岡山県精神科医療センター 理事長 |
| 中原 淑子 | 岡山市議会議員 |
| 中村 純子 | |
| 鍋島 千秋 | |
| 難波 光 | |
| 新谷 恭二 | (株)リースキン岡山 代表取締役 |
| 萩原 誠司 | 美作市長 |
| 橋本 岳 | 衆議院議員 |
| 林 潤 | 岡山市議会議員 |
| 播間 友恵 | |
| 日笠 久栄 | |
| 東 隆司 | 弁護士 |
| 東原 透 | 岡山市議会議員 |
| 平井 芳和 | 飲食店経営 |
| 平松 敏男 | 弁護士 |
| 平松 真紀 | 弁護士 |
| 平松 真澄 | |
| 福田 司 | 岡山県議会議員 |
| 藤原 一徳 | 団体職員 |
| 藤原 恭子 | |

| | |
|-------|-----------------|
| 堀井 茂男 | 慈圭病院 名誉院長 |
| 前原 幸夫 | 税理士 |
| 松村 正基 | 会社員 |
| 松本 好厚 | 岡山市議会議員 |
| 真邊 和美 | 女性問題アドバイザー |
| 三木 亮治 | 岡山市議会議員 |
| 宮本美穂子 | 弁護士 |
| 三好 英宏 | 弁護士 |
| 室賀 康史 | 室賀ネジ機工(株) 代表取締役 |
| 森本 治雄 | 税理士 |
| 森脇 正 | 弁護士 |
| 森脇 久紀 | |
| 安田 寛 | 弁護士 |
| 山崎 悦子 | |
| 山下 貴司 | 衆議院議員 |
| 山本 諒平 | 弁護士 |
| 祐源 伸康 | 平松法律事務所 事務局長 |
| 吉田由紀子 | |
| 若林 晶子 | |
| 若林 久義 | 会社役員 |

以上の他に匿名希望 14名、合計 98名です。

正会員 【団体】

| |
|-----------|
| 株式会社 山陽設計 |
| 蜂谷工業 株式会社 |

以上の2団体です。

正会員・賛助会員になって、VSCOをサポートしてください

年会費は、次のとおりです。

| | | | |
|------------------|---------|-------------------|---------|
| 正会員 個人 1口 | 10,000円 | 賛助会員 個人 1口 | 2,000円 |
| 団体 1口 | 30,000円 | 団体 1口 | 10,000円 |

ご不明の点は、VSCOの事務局（電話 086-223-5564）へお問い合わせください。

賛助会員 【個人】

| | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 出井 敏雅 | 河端 武史 | 高橋 吉保 | 疋田 克繁 | 向井 一紀 |
| 伊藤 述史 | 木口 兵衛 | 瀧本 孝 | 平井 広隆 | 八代 武利 |
| 猪木 健二 | 木村 健治 | 伊達 勝則 | 平田 祥之 | 安信 政男 |
| 今井 洋子 | 日下 知子 | 土器 悦子 | 平部 一美 | 矢野 有哉 |
| 岩瀬 玲子 | 黒瀬 達夫 | 中村 叡子 | 藤井 恵子 | 山崎 真男 |
| 上山 俊明 | 小林 淳 | 中川 佳子 | 藤澤 浩子 | 山崎 資司 |
| 大熊 昌子 | 酒井 健裕 | 長崎 司 | 藤原悠紀子 | 山田 成一 |
| 太田垣弘枝 | 崎本 敏子 | 永瀬 隆一 | 本城 宏一 | 山水祐喜子 |
| 大森 一枝 | 笹井 初音 | 中塚 多聞 | 前田 厚美 | 山本 賢昌 |
| 岡崎 尚子 | 芝田 正剛 | 中西 邦夫 | 正木 さわ | 吉田 誠 |
| 岡田 明子 | 嶋村 洋子 | 中山 正汎 | 松本 一三 | 渡辺 典子 |
| 岡田 孝文 | 新谷 芳子 | 中山美恵子 | 三浦 一男 | |
| 奥津 光生 | 神土 純子 | 難波 賀恵 | 水川美代子 | |
| 小野 恭平 | 杉山 奉文 | 二階堂 保 | 水舟 雪枝 | |
| 小野富貴子 | 鈴木 正二 | 仁木 壯 | 光畑 俊行 | |
| 小埜 雄一 | 角南 真澄 | 花田 雅行 | 三村美智子 | |
| 片山 和良 | 妹尾さくら子 | 日笠 栄 | 三宅 邦子 | |
| 勝浦 義政 | 高橋 茂 | 東 政代 | 三宅 修司 | |

以上の他に匿名希望 78 名、合計 161 名です。

賛助会員 【団体】

| | |
|---------------------|-----------------------|
| 株式会社 アイスライン | 株式会社 セキュリティハウス |
| アサヒ通信システム 株式会社 | 総社花萬 株式会社 |
| 株式会社 大手饅頭伊部屋 | 株式会社 中国銀行 |
| 株式会社 大原組 | 中国建設工業 株式会社 |
| 岡山医療生活協同組合 | 株式会社 トマト銀行 |
| 岡山県貨物運送 株式会社 | 株式会社 トンボ |
| 公益社団法人 岡山県看護協会 | ナカシマプロペラ 株式会社 |
| 岡山県美容生活衛生同業組合 | 中谷興運 株式会社 |
| 岡山県民共済生活協同組合 | 有限会社 中村保険企画 |
| 岡山市連合婦人会 | ネットトヨタ山陽 株式会社 |
| おかやま信用金庫 | 株式会社 バーズコミュニケーション |
| 岡山タイヤ販売 株式会社 | 備北信用金庫 |
| 岡山トヨペット 株式会社 | 福山電業 株式会社 |
| 岡山北西ロータリークラブ | 更生保護法人 備作恵済会 古松園 |
| 株式会社 小倉組 | 三井住友海上火災保険 株式会社 岡山支店 |
| 弁護士法人 菊池綜合法律事務所 | 株式会社 みなみ |
| 木下サーカス 株式会社 | みのるホテル事業 株式会社 (後楽ホテル) |
| クニトミ工芸 | 株式会社 山田養蜂場 |
| 一般財団法人 倉敷成人病センター | 山本建材 株式会社 |
| クラブン 株式会社 | 一般財団法人 共愛会 芳野病院 |
| 医療法人 ミネルヴァクリニックソフィア | |
| 株式会社 廣榮堂 | |
| サンコー印刷 株式会社 | |
| 山陽施設工業 株式会社 | |
| 株式会社 山陽新聞社 | |
| 株式会社 サンラヴィアン | |
| 公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 | |
| 医療法人 清水医院 | |
| 医療法人 清水レディス・クリニック | |
| 株式会社 ジョセイ新聞社 | |

以上の他に匿名希望 3 団体、合計 53 団体です。

被害者支援員養成講座を受講してみませんか？

（被害者サポートセンターおかやま《VSCO》主催）



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョッとちゃん」

被害者サポートセンターおかやま(VSCO)は、犯罪による被害者や、その家族・遺族の方に対して、被害回復のため、電話・面接相談や警察署・検察庁・裁判所や医療・行政機関へ付き添うなどの支援を行っています。
2023年度の支援員養成講座を開催し、支援員(第17期生)を募集します。

【応募要件】

- ★ 被害者支援の活動に参加できる方
- ★ 被害者支援について学びたい方
- ★ 職務上、被害者支援について学ぶ必要のある方
- ★ 被害者支援ボランティアとして活動したい大学生

研修委員会の判断により、受講をお断りすることがあります。

【会場】きらめきプラザ
(岡山市北区南方)

基礎講座

定員 一般 30名・学生 60名 講座回数 6回
資料代 10,000円(初回一括・ただし大学生は無料)
申込締め切り 令和5年4月27日(木) 申込用紙は下記サイトから
時間 9:30～12:30

- | | | |
|----|----------|--------------------------------------|
| 1回 | 5月14日(日) | 開講式、被害者支援の歴史・VSCOの活動内容について |
| 2回 | 5・6月中の平日 | 刑事裁判の傍聴と解説 |
| 3回 | 5月28日(日) | 女性の被害(DV等)の対応について、性犯罪被害者のサポート |
| 4回 | 6月11日(日) | 経済的被害からの回復、消費者被害と消費生活センターの働き |
| 5回 | 6月25日(日) | 児童虐待と児童相談所の働き、スーカー被害者のサポート |
| 6回 | 7月9日(日) | 被害者支援のあり方 最愛の家族の命を奪われた遺族の立場から、閉講式 |

基礎講座修了者(原則皆勤の方)の中から希望で(審査あり)

中級講座

本人の希望と面接、VSCOの審査

被害者支援補助員として登録

～詳しくはVSCOホームページをご覧ください～

VSCOおかやま

検索



(2022年の基礎講座です)

相談・支援は無料 秘密厳守

犯罪被害相談電話

にーさん ころろに
086-223-5562
月～土 10時～16時

性暴力被害者支援センター「おかやま心」

086-206-7511
月～土 9時～17時

(夜間・休日は国のコールセンターが受け付けます)

はやくフンストップ
#8891 (全国共通短縮番号)

岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体
公益社団法人被害者サポートセンターおかやま
ヴィスコ
(VSCO)
事務局 〒700-0824 岡山市北区山下2丁目2番15号
電話 (086)-223-5564
FAX (086)-201-5564
E-mail vsco@vsco.info
H P http://vsco.info



この機関誌は、「赤い羽根共同募金」の助成を受けて作成しています。